

# 今、何の病気が流行しているか！

## 【感染症発生動向調査事業から】

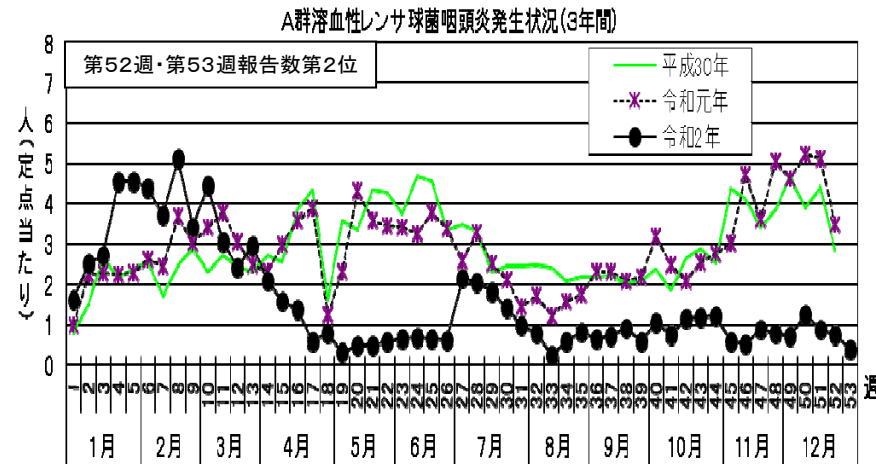
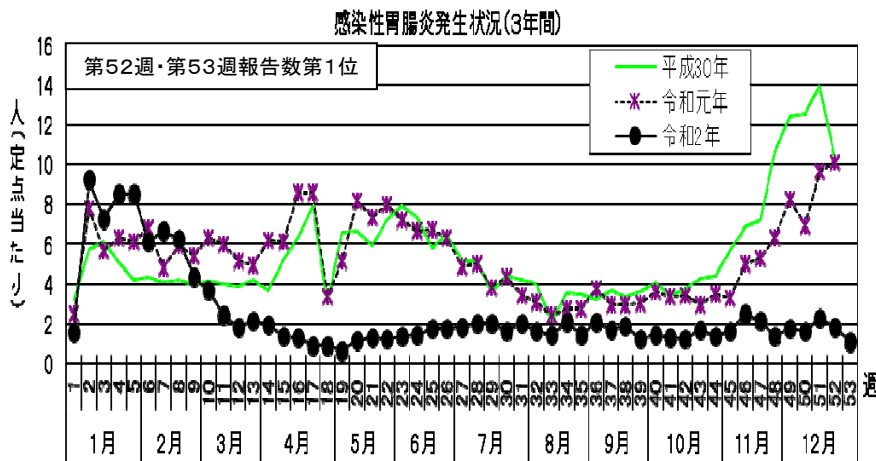
令和2年12月21日（月）～27日（日）〔令和2年第52週〕及び令和2年12月28日（月）～令和3年1月3日（日）〔令和2年第53週〕感染症発生状況

第52週及び第53週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 突発性発しんでした。

第52週の感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は1.81人と前週（2.27人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。

第52週のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.73人と前週（0.86人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。

第53週は年末年始で多くの医療機関が休診であったため、ほとんどの疾患で報告数が減少しています。

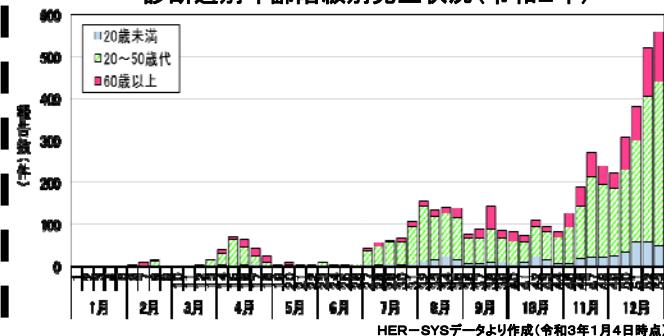


## 60歳以上の報告数が増加しています！～新型コロナウイルス感染症～

現在、新型コロナウイルス感染症の報告数は首都圏を中心に急増しています。川崎市においても、令和2年11月に200件を超えた報告数が、12月に入ってさらに増加し、第52週（12月21日～12月27日）に520件、第53週（12月28日～令和3年1月3日）に560件と、いずれも500件を上回る報告となりました。特に、第52週及び第53週は、60歳以上の報告数がそれぞれ114件、119件と、ともに100件を超えています。

高齢者は、他の年代と比べて新型コロナウイルス感染症が重症化するリスクが高く、致死率も高いため注意が必要です。各自がマスクの着用や手洗いなどの基本的な感染対策を徹底し、体調管理を十分に行って、高齢者への感染を防ぎましょう。

川崎市における新型コロナウイルス感染症の診断週別年齢階級別発生状況(令和2年)



## 新型コロナウイルス感染症の重症者・死亡者の割合

令和2年12月29日18時時点

### 重症者割合(%)

10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	全体
0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	1.4	3.5	4.5	2.0	1.4

重症者割合：年齢階級別にみた重症者数の入院治療等を要する者に対する割合

### 死亡率(%)

10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	全体
0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	1.4	4.8	12.6	1.4

死亡率：年齢階級別にみた死亡者数の陽性者数に対する割合

厚生労働省HP「新型コロナウイルス感染症の国内発生動向」より抜粋